

一般質問



改革と住民サービスについて

神代小学校改築について

安藤 武

改革と住民サービスについて

質問 市民の声を直接取り入れようと市民参加型の組織は作ったものの、中身は粗末すぎる。今置かれている状況の理解、地域の問題解決方法など、広く意見を求めるべきであるのに、市民は意見を発する機会が少ないという声が多くある。財政難の現状の打開策は、住民に知恵を出してもらえないかと考えるが市長の考えを伺う。

市長 住民に対する周知、また意見の聴取については従来以上に心してやっているつもりである。様々な方法で意見をいただき、住民サービスに応えるよう努力しているが、不足な部分については市民の声を聞き、進めようとしている内容が伝わる努力は今後も続けていく。

質問 市民のほとんどが重税により生活費を切り詰めているが、税金を今まで通り全部納めることは難しいという声が方々で聞かれる。色々な原因があると思うが、基幹産業である農業の弱体化、雇用関係の悪化である。このことは地域経済にも大きく影響する。市の独自性が求められて

いる今、施策は何もないのか、市民の心配は募るばかりである。これに市長はどう応えるのか。

市長 重点プロジェクトの中頭に入れないながら施策を展開している。形は変わったとしても、行政として農業者の支援、企業の支援についても施策を設け進めている。行政と市民が一体になり、そういったことの解決に向けていきたい。

質問 行政改革大綱では、十年間で職員の三分の一が定年退職する状況だという。財政面では幾らか解消するかもしれないが、今と全く違った方法を探らないと行政サービスは出来るはずもない。行政サービスは今まで通り維持できるのか。出来ないのなら早いうちから市民に理解を求めた方がよいのではないか。

市長 行政サービスについては、必要なものを整理し考え方を変え、ものによっては住民自らやっていたら、そういったものを峻別し予算づけ、行政施策の中で打ち出してきた。今後少ない財源の中で、将来的には活性化が図られ、自立できていく仙北市に向けて進めていく。

神代小学校改築について

質問 建築に当たり、昨年の検討委員会の設置から現在までの計画についての説明、今後の計画並びに財源の裏付けなるもの考え方を伺う。

教員 改築の方向で検討委員会が設置され、その中で提言をいただいた。現在、二年度着工を目指して進めている。十一月中旬をめどに、基本計画のまとめを考えている。今後は、基本設計を元にし、改築に必要な実施設計、仮校舎の設計等も進めていく中で、早期に業務委託を行い進めていく予定である。

質問 基本的な問題だが、国にも申請しており、国庫の交付金はいただけかと思っている。合併の推進体制整備費補助金並びに合併特例債を充当し建築をお願いしたいと教育委員会では考えているが、財政状況と関係があり市長部局と協議しながら予算化に努めていきたい。



学校行事の集大成「学習発表会」超満員の神小体育館

市長 検討委員会からいただいた様々な意見をくみ入れ一つの方向性を出した。確認のための説明は随時必要と思う。

教員 学校の教職員、教育委員会委員・PTAと業者とのヒアリングを計画している。